

# 飯南

いいなん

## 議会報

- 02 決算審査特別委員会
- 03 9月定例会  
可決された主な議案  
提出されたその他の案件
- 04 一般質問
- 08 委員会の動き
- 09 討論・採決の結果
- 10 常任委員会報告  
議会全員協議会の議題  
議会活動報告
- 12 明日を拓く

第43号  
平成27年10月20日



かめちゃん  
あじがうー

平成27年  
9月定例会終わる

9月8日から18日までの11日間の日程で開きました。

定例会最終日に教育長が発言を求め、今朝、文部科学省(以下文科省)から赤名小学校の大規模改修補助金の内示があったと報告がありました。

この赤名小学校大規模改修の必要性は、かねてより議会が指摘してきたことであり、特に老朽化が激しく、児童がけがをせる可能性のある体育館の改修には、早期着手に全力で取り組むよう再三求めてきました。

過疎計画では、平成26年度に体育館を、27年度には校舎を改修することになっていましたが、27年度の当初予算で一括して予算化され、実現を不安視する声がありました。さらに、文科省から、耐震改修に重点予算を組むため、大規模改修は採択しない旨の回答がありました。

議会はこの事態を重く捉え、7月31日の臨時議会に提案し、財務省、文科省などに予算化を訴える意見書を提出していました。文科省から受けた内示の詳細はまだ不明ですが、子供たちの学習環境の改善と安全が確保されることになり、喜ばしいことです。

「可決された主な議案」

■条例関係

飯南町園芸作物生産施設の設置及び管理に関する条例制定など4件

■補正予算

平成27年度飯南町一般会計補正予算(第3号)など6件

■諸議案

- ・雲南地域1市2町障害支援区分認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約
- ・平成26年度飯南町本庁舎建築工事請負変更契約の締結

「提出されたその他の案件」

■認定

・平成26年度飯南町各会計歳入歳出決算認定

■報告

- ・株式会社フロンティアあかぎの経営状況の報告
- ・平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

「決算審査特別委員会を設置」

平成26年度飯南町各会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。次回の12月定例会期中に報告します。

- 委員長 難波 俊司
- 副委員長 伊藤 好晴
- 委員 熊谷 兼樹
- 委員 内藤 眞一
- 委員 早樋 徹雄
- 委員 高橋 英次

【平成27年度 一般会計補正予算】

庁舎整備費・マイナンバー制度に伴うシステム改修費・町債繰上げ償還など  
2億507万円増額

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	2億507万円	79億5952万円
特別会計	国民健康保険事業	7億4021万円
	後期高齢者医療事業	1億7285万円
	簡易水道事業	4億7173万円
	下水道事業	4億1643万円
	介護保険サービス事業	3022万円

# 一般質問

9月定例会



伊藤 好晴 議員

**Q 保険料軽減措置は継続を**

厚生労働省は、後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置を廃止する方針だ。もともと75歳以上の高齢者は市町村国保組合健保、政管健保などの医療保険に加入し、扶養親族として健保に入ることもできた。しかし平成20年、75歳以上の高齢者対象の医療保険に強制的に加入させられた。

制度に対し国民から激しい反対が起こり、保険料軽減の特例措置が導入された。激変緩和のための恒久的な措置と理解している。

本則保険料になると、2倍から10倍以上の負担になる。深刻な受診抑制につながり、高齢者の健康を守ることもおぼつかない状況に陥る。年金も段階的に引き下げられており、この状況の中で負担増は許されないと考えるがどうか。



町長 山崎英樹

**A 動きを注視し、要望する**

対象となる被保険者に不安が生じないような配慮が必要であり、激変緩和措置を講ずるなど、被保険者が混乱しないようにすることを町村会で要望している。しかし、必要ならし動きを注視し、必要ならしかるべき要望を行いたい。

**Q 行政も葬送一役を**

天涯孤独のお年寄りや身寄りのない方で、自身の死後に不安を持っている方が多いことがわかった。

現在は法律に基づいて、市町村が遺体を引き取って埋葬している。費用は亡くなった方の遺留金品で賄い、不足部分は市町村が立替え、最終的には県が負担している。

身寄りのない方や家族や親戚と疎遠になつていいる場合、看でもらえないということは十分考えられる。イターンした方の中にも該当があるかもしれない。

その方々と行政、葬儀執行者の3者で生前に契約を結んでおけば、葬送まで行うことができるかと考える。

町のオンラインワンの施策として要綱に定めて実現し、不安を取り除くことを提案し、考えを問う。

**A 仕組みを研究する**

町長 山崎英樹

質問を真摯に受けとめた。要綱により、そういう人々の不安を取り除くことができるなら意義のあることと思う。気持ちはしっかり通じたところである。

このような仕組みづくりで死後の不安を解消できるなら研究したい。



# 一般質問

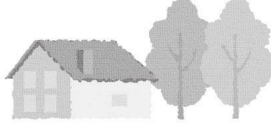
9月定例会



門 眞一郎 議員

**Q U・イターン定着を**

人口減少対策には、U・イターンの定着率が低いことの原因除去が必要だ。各世代の人口バランスと人口維持が本町の行政サービス水準維持のため不可欠。定着率が伸びない原因と解決策をどう考えているのか。また、U・イターン促進のための新たな対策は何か。



**A 総合戦略達成で**

町長 山崎英樹

飯南町人口ビジョン達成に向け、「総合戦略」の実行が達成の力となる。

U・イターン者定着の阻害要因は、仕事のミスマッチ地域との人間関係、住環境への不満など。

地域への溶け込み、人間関係の構築、安定した仕事、良好な住環境などをバランスよく取り組み、相談体制を充実させる。

新たな施策として、三十路事業、民泊推進事業などで本町へひとの流れをつくり、社会増が実現できる地域づくりを推進する。

また、補助金や各種支援制度、相談体制の充実を図る。

**Q 鳥獣被害対策は**

コジカの子撃捕罠やイノシシによる水稲被害、クマによる人身や作物被害が相次いでいる。今後被害拡大が危惧されるが、有害鳥獣に対するどのような対策を取るのか。また、鳥獣被害対策実施隊の成果と活動状況はどうか。進入防止柵設置は、町全体に行き渡るように計画的に行う必要があると思うが、どう考えているのか。

**A 組合設立で体制整備**

産業振興課長 大谷哲也

7月未までの成果は、イノシシが69頭、シカが8頭などで昨年度より増加傾向にある。

また、猟銃取得補助は2人から相談があり、他に1人の交付申請があった。

実施隊は48人で編成し、クマの監視パトロール7件、シカサギ対策1件で出動延人数は60人だ。

イノシシ対策は個人に限界があり、集落等で管理組合を設立するなど体制整備していきたい。





# 一般質問

9月定例会



内藤 真一議員

## Q 救急体制の 広域化は

角井地区は最も近い志学診療所・大田市立病院を利用することが多い。このたび志学診療所が閉鎖されたが、大田圏域の救急車を利用できないか。



飯沼消防署

## A 圏域があり困難

町長 山崎 英樹

消防組織が一体化していないため、消防署ごとの運用になっている。指揮命令系統が違うため、圏域を越えて利用はできない。今後の課題としたい。



## Q 鳥獣被害防止 対策は

今年度の鳥獣被害は昨年以上で、町民が襲われる事案も発生した。現在までの被害状況と被害額を問う。  
また、猟友会会員への手当増額や各自治会へ監の支給を取り組むべきではないか。

## A 活動環境を 整えた

町長 山崎 英樹

被害状況は、現在、ノ1サイ損害評価委員が調査中のため把握していない。  
昨年度は水田被害が102枚で952アール、共済金額ベースで297万円であったが、今年度はさらに増加すると思っている。  
クマの目撃や錯誤捕獲は8月末で22件発生している。  
猟友会新規会員確保対策の制度化、鳥獣被害対策実施隊隊員の身分保障、公務災害の適用等、安心して活動できる環境を整えた。  
捕獲体制や侵入防止対策の資材費の助成は、捕獲体制の実効性を高めることに努め、来年度の国の交付金確保に全力で取り組む。

# 一般質問

9月定例会



長島 正一議員

## Q 飯南米ブランド 確立を

米価が引き上げられたが、採算のとれない経営が続いている。  
カントリーエレベーターが完成し、飯南米ブランドの確立により米価アップが期待されているが、どの様な戦略を考えているのか。  
道の駅や小売店などへボスタ1広報や協力店看板などの設置で、まず地元でのPRに力を入れるべきではないか。

## A 消費者アピール を徹底

町長 山崎 英樹

コメの品質と飯南のイメージが大切との声から、大しめ縄や森林セラピー等と合わせPRしていく。  
関東では高評価なので、東京農研人会員に広報チラシなどを配布する。  
また、広島県の女性に試食調査を実施し、販売に努める。さらに、食味分析鑑定コンクールにも参加する考えだ。  
PRはご指摘のように、まず地元から進めていく。

## Q 介護サービスの 行方は

国は在宅介護を重視し、訪問介護を増やす方針だ。一方、介護報酬は減額され、職員への影響が心配される。  
施設は、職員確保等、持続的経営に不安を抱えている。地域で支える医療や介護の仕組みが求められているのではないか。

## A 職員の福祉施設 派遣を検討

町長 山崎 英樹

医療・介護の現場では人材確保が困難で、就労助成制度を創設し人材確保に努めているが、解消されていない。  
制度の拡充と共に、職員の派遣も検討していく。

## Q 地方創生の まちづくりは

全国の自治体が「総合戦略」策定に取り組み、自治体間の競争が始まっている。  
飯南町は、どこに視点を置くのか。

## A 「年少人口の維持・ 安定」を基本に

町長 山崎 英樹

まちぐるみで子供を育てる機運を高める。  
目標達成に向け、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」「本町への人の流れをつくる」「生き生き暮らせる仕事をつくる」「安心・快適に暮らせるまちをつくる」の政策を展開する。



まちぐるみで子供を育てる

## Q 交流物産館、 今後の展開は

交流物産館は、当初計画を大きく下回る状況が続いている。原因は農産物出荷量が少ないことにある。出荷農産物の全量買取などの方策が必要ではないか。

## A 運営体制を強化

町長 山崎 英樹

現状は前年を下回り厳しい状況であり、情報発信や運営体制の強化に努める。  
2周年イベントや年末商戦に向け、生産者に参画いただき、戦略を組み立てる。

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

委員長 伊藤 好晴

議会運営委員会「通称」議運の仕事は、①議会の運営に関すること(日程など)、②会議規則や委員会に関する条例など、③議長が諮問した事項について調査することが基本とされています。

通常は、定例議会臨時議会の日程協議と議案を付託する委員会の決定などを主に所管しています。



今回編成されている議運には、これまでの調査・検討の過程において、改革の必要性が指摘されながらも実現に至らなかった課題について議長から諮問を受け、協議を始めることとします。

具体的には、①議会審議の活性化を目指した改革に関すること、②議会基本条例の制定について協議し提案することです。活発な議論のなされることを目指しています。

議運を目的とし、独自の議会基本条例の制定に向けて協議を進めます。

また、議会活動の透明性向上を目指した改革に関することとして、ホームページを活用した広報の実施等、情報公開の充実についても諮問を受けていますので、インターネットを活用した議会活動についても議論していきます。

## 議会広報委員会

委員長 門 眞一郎

議会が行ったことを市民の皆様にお知らせする目的で、今年4回の定例会の翌月に議会報を発行しています。

4日間わたる委員会で、一般質問の要約をはじめ、見出し文の作成や討論の要約、委員会報告・研修報告・特集記事、インタビュー、写真撮影などすべて委員の手によって編集しています。

短期間なので、委員の熱意と



熱度が出来栄を左右します。皆様に分かり易く、臨場感のある紙面づくりをできるだけ心掛け、用語は記者ハンドブックを参照しています。今後は議会のホームページ開設したいと思っています。

議会広報では議事や一般質問のすべてをお伝えできないことからホームページで議録の全文も掲載したいと考えています。また、フェイスブックなどSNSを活用し、議員ひとりひとりの活動や考えをお伝えできるような手段を取り入れたいと考えています。

# DEBATE 討論

**賛成討論** 伊藤 好晴議員  
マイナンバー施行準備のための条例案3件、その準備のためのシステム改修費を計上した予算案3年に討論あり。

**反対討論** 伊藤 好晴議員  
マイナンバー制度は、戸籍に住むすべての人に、住所を付与し、税や社会保障の仕組みなどで使用する仕組み、年金や税金、住民票などの個人情報をつむぎけることが可能になる。

**賛成討論** 早稲 徹議員  
マイナンバー制度は、戸籍を修正しシステム改修を含む必要経費を適正化し、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平な社会の実現を目的として進められていくのが国民の理解も深まる。

**反対討論** 伊藤 好晴議員  
多くの国民が詳細を知らず、情報漏えいの不安を感じている。地方自治体や企業の漏えい対策は遅れているので、速急の通知を始めると個人情報保護が危殆に陥ります。マイナンバーが外部に漏れれば悪用され、個人のプライバシーが侵害される。

同様の理由から与野に反対する。

**賛成討論** 早稲 徹議員  
マイナンバー制度は、戸籍を修正しシステム改修を含む必要経費を適正化し、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平な社会の実現を目的として進められていくのが国民の理解も深まる。

**反対討論** 伊藤 好晴議員  
多くの国民が詳細を知らず、情報漏えいの不安を感じている。地方自治体や企業の漏えい対策は遅れているので、速急の通知を始めると個人情報保護が危殆に陥ります。マイナンバーが外部に漏れれば悪用され、個人のプライバシーが侵害される。

同様の理由から与野に反対する。

**賛成討論** 早稲 徹議員  
マイナンバー制度は、戸籍を修正しシステム改修を含む必要経費を適正化し、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平な社会の実現を目的として進められていくのが国民の理解も深まる。

**反対討論** 伊藤 好晴議員  
多くの国民が詳細を知らず、情報漏えいの不安を感じている。地方自治体や企業の漏えい対策は遅れているので、速急の通知を始めると個人情報保護が危殆に陥ります。マイナンバーが外部に漏れれば悪用され、個人のプライバシーが侵害される。

同様の理由から与野に反対する。

**賛成討論** 伊藤 好晴議員  
保険料軽減特例が見直され、軽減措置を段階的に縮小し、平成29年度から本則に戻す。

**反対討論** 熊谷 薫樹議員  
特例は、段階的に縮小し、介護保険料軽減の拡充や、年金生活者支援給付金の支給と合わせて実施する。持続可能な制度にするため必要だ。

**賛成討論** 伊藤 好晴議員  
鳥根原発の稼働再稼働に反対し、再生エネルギーの飛躍的な普及を求める陳情。

**賛成討論** 伊藤 好晴議員  
実効性ある広域避難計画の実現を受け入れ、自治体も財政支援、安全協定に周辺自治体も参加して再生可能エネルギーの促進と低エネルギー社会の実現が重要だ。

**反対討論** 内藤 眞一議員  
福島原発事故反省を踏まえ、原子力規制委員会は、新たな規制で再稼働の許可をしない。

再生可能エネルギー開発をそれぞれの立場で開発、普及を図っている状況だ。代替エネルギーができるまで、多量の電力供給には原子力発電所が必要だ。

【9月定例会】 全12議案のうち、反対等があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	高橋英次	早稲 徹	内藤 眞一	熊谷 薫樹	門 眞一郎	長島 正	永井 章	伊藤 好晴	伊藤 好晴	伊藤 好晴
飯南町情報公開条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

その他の議案は全会一致で採決されました。

### 陳情の採決結果

陳情内容	採決結果	高橋英次	早稲 徹	内藤 眞一	熊谷 薫樹	門 眞一郎	長島 正	永井 章	伊藤 好晴	伊藤 好晴	伊藤 好晴
安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択についての陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
「安全保障法制関連法案について十分な審議を尽くすことを求める意見書の提出」を求める陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書を国に提出することを求める陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
鳥根原発の稼働再稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求める陳情	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●

### 第4回臨時会(7月31日開催)

平成27年度飯南町一般会計予算(第2号)	全会一致で可決
----------------------	---------

### 意見書の提出

「公立学校施設整備費負担金等の国庫補助事業を受けて実施する事業」の財源確保に関する意見書	全会一致で可決
--	---------

○賛成議員 ●反対議員

教育経済  
常任委員会

委員長 長島 正一



ぶなの里(花菜)

飯南町園芸生産施設の設置  
及び管理に関する条例

飯南町の園芸振興、新規就農者や農業団体等の育成のため、園芸作物生産施設の設置基準や管理方法を定めた。

使用料金は、8m×40mのハウスで年額69,000円／棟、8m×33mで57,000円／棟。



建設中のパイプハウス(下赤名)

平成27年度  
一般会計補正予算

定住等総合支援事業 529万円

ビジネスコンテスト、新産業創出や産業人材育成を図る。

産業能率大学との連携により、商工業に携わる若手人材を育成するための事業で、8人程度を予定している。

農業振興費 170万円

地域おこし協力隊をぶなの里に配置し、産直野菜などの販売拡大やイベント企画などを行う。

観光協会運営事業費 503万円

外国人の観光誘客を図る事業。  
飯南町観光パンフレットの刷新や外国人観光客向けのパンフレット作成など。

道路維持修繕工事費 1,400万円

公共施設の駐車場や道路の白線及び通学路などの緊急的対応費用。

総務厚生  
常任委員会

委員長 早樋 徹雄



来島保健センター

平成27年度  
一般会計補正予算

(歳入)

地方交付税

平成27年度普通交付税は、合併による優遇措置の縮減により35億1千万円余となった。

優遇措置は段階的に縮減され、平成32年度には現在より3億円近く減額となる見込み。

これに対し、基金運用、ふるさと納税、未収金対策、行財政改革など、収入の増加策や支出の削減対策に一層の努力を求めた。



(歳出)

マイナンバー(個人番号)制度 756万円

この制度は「行政の効率化」「国民の利便性の向上」「公平公正な社会の実現」を目的としてはじまる。10月からは通知カードの送付、平成28年1月から制度がスタートする。

一般会計(756万円)と特別会計2会計(507万円)にシステム改修費等関係費が計上されているが、情報漏洩に万全な対策と積極的周知に努力を求めた。

ファミリーサポートセンター事業 112万円  
(幼児等子供の一時的預かり事業)

現在預けている人は1人であるが、「まかせて会員」宅では、子供の安全確保が困難な箇所もある。このため、来島保健センターでの預かりも可能にするための備品整備費。

昨年度6月からの事業だが、子育て支援策の一環として利用しやすいよう充実を求めた。

公債費(元金、利子)

繰上げ償還は5800万円余の補正予算となっている。実質公債費比率(3か年平均)は13.2%の見込みだ。財政運営に一層の健全化を求めた。

議会活動報告 [7月~9月]

- 7月18日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
- 7月18日 広島県安芸高田市議会視察受入(議会広報編集)
- 8月8日 議会広報編集委員会:紙面校正
- 17日 雲南広域連合議会臨時会
- 22日 全員協議会
- 27日 教育経済常任委員会
- 31日 議会運営委員会:臨時議会の提出議案、日程外の協議臨時議会:提出議案の説明、質疑、討論、採決 全員協議会
- 8月7日 島根県町村議会議長会 議会広報研修会(松江市)
- 9日 県消防協法大会
- 25日 雲南広域連合議会定例会
- 27日 教育経済常任委員会

- 9月4日 議会運営委員会:9月定例会の提出議案、日程外の協議
- 8日 9月定例会:本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託 全員協議会
- 11日 :本会議、一般質問
- 14日 :委員会審査
- 15日 :委員会審査
- 16日 :委員会審査
- 17日 :議会全員協議会、委員会審査、予算特別委員会審査
- 8日 9月定例会:本会議、委員長報告(質疑)、討論、採決
- 25日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
- 29日 議会広報編集委員会:編集作業

議会全員協議会の議題

- 7月22日
  - ①島根大学「地域教育魅力化センター」設立の報告
  - ②飯南町の農業振興に関する協定書締結の報告
  - ③長峰町大村市との友好交流都市提携の報告
  - ④志津見浄水場原水の濁り発生と対応の報告
  - ⑤飯南病院空調設備更新の報告
  - ⑥台風11号被害発生状況の報告
- 9月8日
  - ①飯南町人口ビジョン及び総合戦略(案)の説明
- 9月17日
  - ①飯南町人口ビジョン及び総合戦略(案)に対する意見聴取
  - ②島根県知事重点要望の報告
  - ③飯南町行政改革に関する答申書の報告
  - ④NHKラジオ第一放送のFM放送局建設と健康体操講座開催の報告
- 9月17日
  - ⑤投票所の統合協議の報告
  - ⑥本庁舎建築工事仮変更契約の締結の報告
  - ⑦保育料の算定誤りの報告
  - ⑧飼料メーカーによる和牛一貫経営事業への参入計画の報告
  - ⑨公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の中止報告
  - ⑩山林地内での作業行為に関わる届出の義務化の報告
- 7月31日
  - ①飯南町人口ビジョン及び総合戦略(案)の説明



# 飯南町の未来も担う 出会い創出事業が進んでいます。

飯南町は今年から出会い創出事業に取り組んでいます。それに先駆けて誕生したカッパルの一つ、5月にご結婚された前川国香さん、由紀さんに伺いました。



前川由紀さん

これまでお二人の接点はあったのでしょうか

高校の同級生ですが、クラスが違っていたので、話したこともなかったですし、職場が違うので会う機会はありませんでした。

## 出会いのきっかけは

お互いの職場の上司が紹介してくれました。意外と身近なところに縁があるもののだとは思っています。

## 家庭を持つってみてどうですか

「国香さん」親と同居してくれて、家族がひとり増え、母も話し相手ができるすごく楽しそうです。

「由紀さん」独身のときは一人が楽だと思っていました。確かに家庭を持つと責任も生まれるので、大変と感じることもありますが、家族を作る幸せの方が大きいです。

## 新しい命を授かったとき、どう感じましたか

「由紀さん」単純に嬉しかったです。不安もありますが、親や友人に教えてもらいながら楽しく子育てできればと思っています。

「国香さん」すごく嬉しくて、将来が楽しみです。とにかく健康に育ってほしい。

## 町内の独身男女が交流する場があればどうでしょうか

すぐ結婚に結びつくかどうか

かわかりませんが、多くの方と交流するのは本人の視野も活動範囲も広がるので良いことだと思います。

出会いがほしくても出会いがない人もたくさんあると思います。紹介してきっかけを作ってくれる人が必要だと思いました。



前川国香さん

## 後押しをしてくれる人が大切と言われますが

私たちの場合は、双方の親が協力して、リードしてくれました。おかげで不安を感じないで結婚に突き進むことができました。本当に感謝しています。

ありがとうございます。国香さん、由紀さんお幸せに、そして、お腹の赤ちゃんが健やかに成長されますようお願いしています。

## 今月の表紙写真



大きな口を開いておむすびをバクリ! 地元で作った飯南米は格別なのに加え、お母さん手作りの弁当なので特に美味しいようです。もっと食育の導入をと中央では進めていますが、外食できるところは極めて少なく、基本的には地産地消で家庭料理が中心の私たちの地域です。自信をもって子どもたちにも「ハイ、どうぞ」。

保育所での土曜日ランチ。新米おいしいね。

## 編集後記

本定例会の会期中、安全保障関連2法の是非をめぐる、国会やメディアで論戦が交わされ、主要都市では大規模なデモが行われました。

山陰中央新報の紙面には毎日、関連記事が掲載されましたが、両論が併記され、偏った方向へ誘導する意図が見られませんでした。

さて、議員は1つの事柄の是非を判断するとき、あらゆる可能性を考え、地域や世界を俯瞰して、国民や地域住民の生命財産を守るため、最良の方法を見出さなければなりません。

ひとつの考えにとらわれず、虚心にして町民の皆さんの声を聴き、先進地の必死の努力を見聞きし、この町にとって最良は何か見出ししていきたいと考えています。

これからも、皆さんのご意見をお寄せください。

議会広報編集委員会 門 眞一郎